

平成24年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

広島市立楠那小学校

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の実施日 平成24年4月17日（火）

3 調査方式

抽出調査・・・文部科学省が調査対象として抽出した学校において、調査を実施する。

希望利用による調査・・・文部科学省より問題等の提供を受け、各学校において、調査を実施する。

4 調査実施学校数（公立学校）等

区分	抽出調査実施校数（校）		調査実施者数（人）		
	国	県	国	県	楠那小学校
小学校第6学年	5,140	129	255,186	6,166	53

5 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語，算数・数学，理科）※理科はA・Bを一体的に出題

主として知識に関する問題〔A問題〕

- ◇ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ◇ 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など

主として活用に関する問題〔B問題〕

- ◇ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ◇ 様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査

- ◇ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

学校に対する調査

- ◇ 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

6 各教科の平均正答率

【小学校】

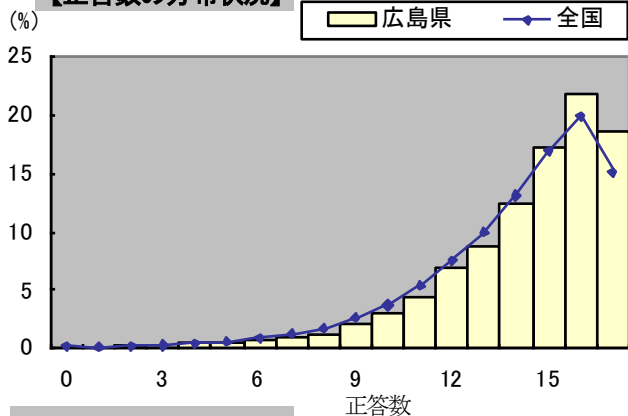
国語			算数						理科					
A問題			B問題			A問題			B問題					
国	県	楠那	国	県	楠那	国	県	楠那	国	県	楠那	国	県	楠那
81.6	83.6	80.5	55.6	58.1	55.9	73.3	75.4	69.3	58.9	60.5	56.8	60.9	62.9	58.3

7 各教科の調査結果の概要

【小学校国語】

国語 A

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

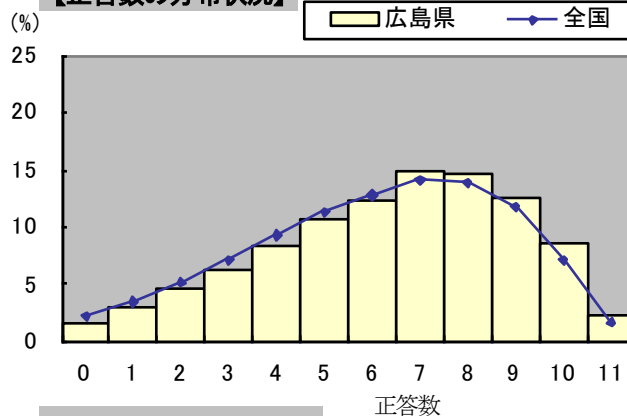
領域	平均正答率(%)		
	全国	県	楠那
話すこと・聞くこと	79.4	81.6	80.1
書くこと	57.5	62.6	52.9
読むこと	82.1	84.0	83.2
言語事項	86.3	87.9	85.5

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	県	楠那
選択式	72.5	75.3	71.2
短答式	84.3	86.2	83.4
記述式	—	—	—

国語 B

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	県	楠那
話すこと・聞くこと	63.0	65.8	57.1
書くこと	46.8	50.1	49.2
読むこと	55.7	57.5	56.9
言語事項	55.2	60.6	59.6

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	県	楠那
選択式	60.1	62.3	61.0
短答式	45.0	45.6	42.3
記述式	48.5	52.3	48.7

定着状況

- 漢字テスト等で繰り返し練習したことで、学習した漢字を正しく読み書きできるようになってきた。
- 分からない言葉があるときは、国語辞典や漢和辞典を使って進んで調べるようにしたことで、百科事典を読み、目的に応じて中心となる内容を捉えることができるようになってきた。

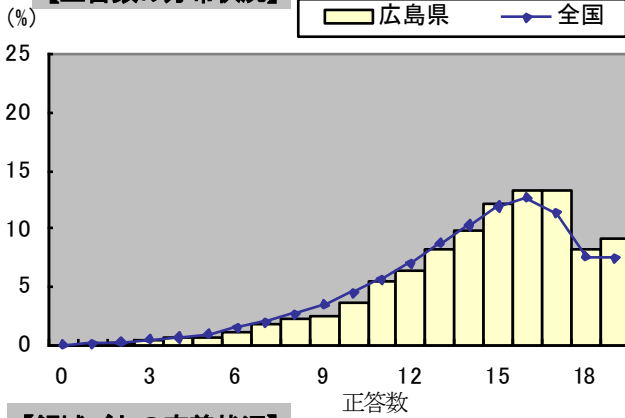
課題

- 目的や意図に応じ、必要となる事項を整理して簡潔に書くことができにくい。
- 話し手の話した内容のねらいを明確にし、質問のねらいを適切に捉えることができない。
- 司会として、話し合いの目的を再確認し、計画的に話し合いを進めることができない。

【小学校算数】

算数A

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	県	楠那
数と計算	75.0	76.1	75.6
量と測定	71.7	74.0	63.5
図形	72.6	76.5	63.5
数量関係	74.4	77.9	65.4

【問題形式による定着状況】

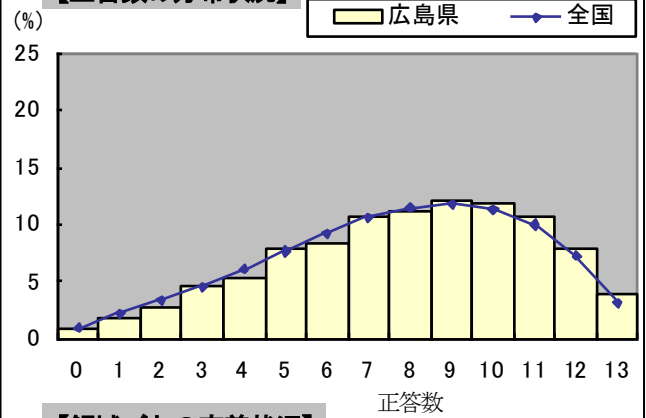
問題形式	平均正答率(%)		
	全国	県	楠那
選択式	58.5	61.1	51.4
短答式	77.2	79.3	74.1
記述式	—	—	—

定着状況

- 整数・小数の仕組みを多面的・多角的に取り扱う学習を進めてきた結果、基礎的・基本的な計算力が定着しつつある。
- 文章問題で絵や図を用いるなどして状況場面の把握を行いながら指導を続けたことで、実感を伴って理解をし、答えることができるようになってきている。

算数B

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	県	楠那
数と計算	54.0	55.2	56.1
量と測定	60.8	62.2	58.8
図形	63.3	65.1	57.7
数量関係	49.5	51.9	50.0

【問題形式による定着状況】

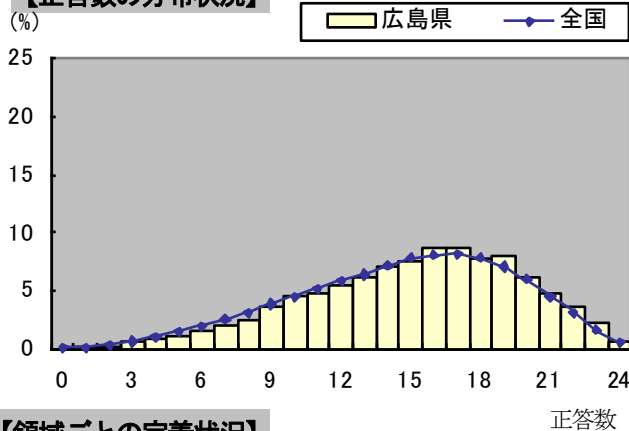
問題形式	平均正答率(%)		
	全国	県	楠那
選択式	68.0	69.4	57.7
短答式	77.1	77.8	72.3
記述式	35.3	37.9	40.8

課題

- 図形の構成要素が理解できていない。
- 場面と図・表などを関連づけて、二つの数の数量関係を理解することができない。
- 割合や百分率について理解できておらず、活用できていない。

理科

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	県	楠那
物質	61.4	63.0	60.4
エネルギー	59.8	62.5	58.5
生命	68.6	70.3	63.3
地球	50.6	52.5	47.9

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	県	楠那
選択式	65.0	66.4	60.4
短答式	63.9	66.8	61.1
記述式	34.5	37.3	42.1

定着状況

- 校庭や公園の桜の木など、身近な植物の観察を日頃から行うことにより、植物の生長の規則性を理解している。
- 点検で使用する器具や用具を繰り返し使用し、名称や扱い方の定着を図っている。

課題

- 実験結果を基に分析したり、理由づけをして説明することができにくい。
- 方位磁針の名称は理解しているが、適切な操作方を身につけていない。